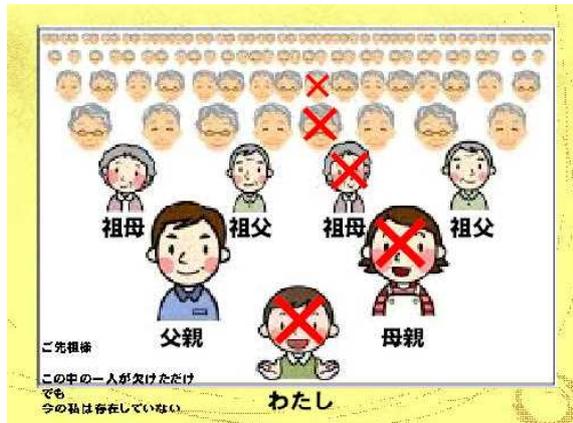


校長室より⑫

性教育月間（1月25日～2月15日）



現在の私 2人の両親から

両親	4人
祖父母	8人
4世代前	16人
5世代前	32人
...	
10世代前	1,024人 (およそ200年前)
15世代前	32,768人
20世代前	1,048,576人
25世代前	33,554,432人
30世代前	1,073,741,824人
31世代前	2,147,483,648人
32世代前	4,294,967,296人
33世代前	8,589,934,592人
34世代前	17,179,869,184人
35世代前	34,359,738,378人
40世代前	1,099,511,627,776人 (およそ1000年前から)

私の誕生の確率

- お母さんの卵子の数 **400の内**の1つ
- お父さんの精子の数 **3億の内**の1つ

0.2mm ... 卵子
0.06mm ... 精子

3億の内のたった一つだけが卵子の中へ入り込み、受精 = **生命の誕生**

「ladies and gentlemen ...」 から
「all passengers ...」 or
「everyone ...」 へ
(日本航空)

どのような人たちにも、気持ちよく使えるように

性の多様性に配慮

(校長講話プレゼンより)

性教育月間最初の校長講話では、「数字でみる私たちの命」ということで、私たちの命は奇跡的に誕生している事をご先祖様の数と受精の確率から考えてみました。さらにこの旬間では、性の多様性や心の性、男女を互いに尊重し合うこと、これから生まれてくる命について等この旬間で考えてほしいことについて話しました。



各学年の授業では、1学年は「命の誕生」2学年は「思春期の性意識と性に関わる人権侵害」、3学年は「中高生の妊娠について」の内容で担任と養護教諭による授業を行いました。

大事に育てられてきた家族に感謝の気持ちを持ったり、男女互いに相手の気持ちを理解しながら性衝動をコントロールすることを考えたりすることができました。

自分もまわりの人もそしてこれから生まれてくる命も大切にすることを学習しました。

参観日（1月27日）



性教育月間中ということで、参観授業も性教育を行いました。お忙しい中、多くのご家庭の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。

安心安全な学校づくり

道徳・人権教育の充実(SNS、人種・外国人)
 全校生徒で、全職員で、みんなで学ぶ人権教育
 体罰ハラスメントに対する早期対応

もう一歩…
 ・真学年で学ぶ
 ・職員の研修
 ・アンテナを高く

確かな学力の定着

自己の高まりを実感できる授業づくり

わかりやすい授業と意欲的に学ぶ生徒仲間とともに学び合う生徒

職員は授業力向上への意識が高い(学び合う教師集団)

もう一歩… 主体的・対話的な学びの授業と一人一人に合った家庭学習(自学)

『天龍力』の育成

(地域発の豊かな学びを通して育む天龍村でなければつかない力)

- 天龍村のもの・人・事に学ぶ
- 一人一人にきめ細やかな指導
- 異学年集団(全校)での学習

・梅花PROJECT ハンガーPROJECT
 ・キャリア教育(自分の生き方を考える)

探求的な学習を求めて
 ・自律・自立をめざして
 ・キャリア教育の充実

→ もう一歩…
 「ひとりになれる」を重点に

令和3年度 学校運営 に向け

学校自己評価のまとめより

- ①コロナ禍で学んだ事を生かす
- ②学校教育目標の「自主」および重点の「ひとりになれる生徒」を目指す
- ③今までの成果の継続

(校長講話プレゼンより)

参観後の校長講話では、学校自己評価アンケートの結果等から今年度1年間の学校教育活動について振り返り、来年度への方向をお話ししました。

生徒の授業評価も高く、保護者の皆様からも高い評価をいただいていることに感謝しています。また、わかりやすく楽しい授業から、生徒が主体的に学ぶ学習の姿が多く見られたこと、天龍中学校の授業力向上に向けて、学び合う教師集団としてよい授業をみんなで作り上げる雰囲気であることが校長にとって大変うれしいと感じていることを話しました。

今年度、コロナ禍であるからこそ見直したり、学ぶことができたりしたことも数多くありました。そこから、来年度の方向として、自分で考えてできる学習を自分で進める家庭学習となるように指導していくこと、やらされている家庭学習でなく、本当の自分の身になる家庭学習となるようにしていきたいことをお伝えしました。これには私たち教師の指導の研究も必要ですので、徐々に進めていければと考えています。

1年生職場見学（2月4日）

職場見学で「花田酒店」「おきよめの湯」「南信州菓子工房」の3か所を見学させていただきました。それぞれの場所で、仕事に対する思いややりがい、大変さなどを語っていただき、「働く」ということについて考えました。自分の将来について考える良いきっかけとなりました。



【生徒の感想より】

自分のやりたいことをするだけでなく誰かのためになるような、喜んでもらえるような仕事がしたいと思った。大変なことがあってもそれを「どう乗り越えるか」や「どうチャンスに変えるか」を考えることができる人になりたいと思った。

梅花プロジェクト 製品作りと贈呈 ・ ハンガー製作会



天龍中学校の梅花プロジェクトとハンガープロジェクトも今年度のまとめと締めくくりをしています。今年度は、コロナ禍で村の方々とハンガーを製作したり、梅花駅伝で製品を販売したりすることができませんでした。そこで、今年度の締めくくりとして、村内のお世話になった方々へ感謝の気持ちを込めて、クッキーや梅ジャム抹茶チョコレートなどの製品をつくり、生徒が直接各所に出向いてお届けをしました。また、ハンガー製作会でお世話になった方々へ17本のハンガーをお届けしました。お届けしたお宅や事業所では、大変喜んでくださって、一緒にお茶を飲んだり、楽しくお話も聞かせていただいたりしてきました。